



淀川区まちづくりセンターのスタッフが地域を訪問し、興味を持ったスポットや取り組みを紹介するシリーズ。

第8回目は、田川地域です。



①まちにはたくさんの工場

田川地域を回っていると、工場や製作所がとても多いことに気がつきます。大手企業から町工場まで大小様々です。町工場が建ち並び路地を歩くと、物を造る機械の音や、そこで作業をする人たちの声が聞こえてきて、この地域で働く人たちの営みを身近に感じることができます。



②日本一低い!ガード下

田川北3丁目から三津屋に抜けるJR北方貨物線のガード下は、なんと高さが1.2m! インターネットで検索してみると「日本一低いガード下」と表示されています。ここを自転車に乗ったまま通過しようとするれば、必ず頭をぶつけてしまいそうな低さです。しかし、ガード下から間近に見る電車は迫力満点です。一度、その臨場感を味わってみてください。



③この道は昔・・・

田川地域南部の緑地帯もある立派な大通りですが、うねうねと曲がっています。ここにはかつて、淀川の支流「中津川」がありました。蛇行し川幅も狭く、度々洪水が起きていたことから、明治29年に始まった「淀川改良工事」で、新淀川開削のため埋め立てられました。今は存在しない川となりましたが、地図を見るとどこことなく川だった雰囲気はしませんか?



淀川区まちづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!



それいけ、まさふみ!

淀川区長 榎 正文 (さかき まさふみ)

まちは大きな家族・・・子どもは居場所を必要としています。

●9月9日、豊中市、吹田市の行政や住民の皆さんとのコラボ、災害時帰宅困難者体験訓練に参加しました。今年のはついに淀川を越え北区の豊崎西公園からスタート。総参加者600名オーバー、マスコミ取材も。皆さん想像してください。大災害時電車が止まったら梅田からどうやって淀川を渡りますか?歩いて通れるのは新淀川大橋(新御堂筋)だけ、ということも。北区側から橋まで行こうとすると、道がややこしくなかなか橋にたどり着きません。橋の昇り口付近に着いても、周囲は人気の無い暗い空地、そもそも停電かも…。お仕事帰りに、またお休みに関わらず訓練に参加いただき、遠くは名古屋の学生さんもおられました。

●「睡眠の秋」到来。P15の「ヨドネル大規模調査 結果報告会」では、初夏に行った全国初、淀川区の小中学生約6,000人の大規模調査をもとに、子ども達の睡眠の実態を解き明かします。睡眠と学力の関係!?生活習慣と家庭の関係!?淀川区の子ども達のどのような実態が解き明かされるのか。保護者必聴、脳科学的観点からのアドバイスが満載です。

●P4の森栗先生の講演会。ご家庭の事情で、夜遅くまでひとりで過ごす子ども達がいいます。放課後等に食事、学習、団らんなどを通して過ごすことができる「居場所」があればどれほど安心でしょうか。ただ「いつでもおいで」という場所をつくってあげるだけでも良いのです。地域の皆さまにぜひ聞いていただきたいテーマです。

「区長とかたろう」参加者募集!

区長の榎が直接話をうかがいます。

日時 毎週金曜日 18:00~18:30
毎月第4日曜日 10:00~11:00

※公務等で開催できない場合はHP、ツイッター等でお知らせします。

場所 区役所1階ロビー お一人10分

受付 事前予約制。実施日の10日前から開催直前の木曜日の13:00までの間で予約を受付します。詳細はホームページか担当へお問合せください。

担当 政策企画課 5階51番 電話6308-9683